

データでみる管内の現状

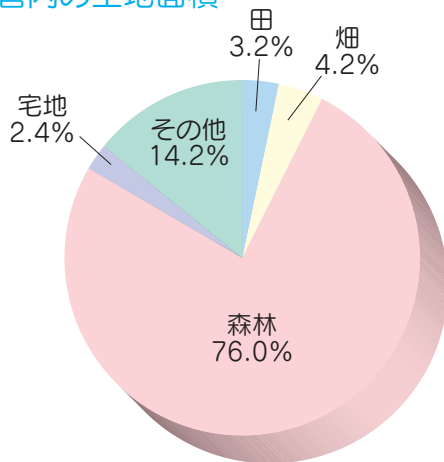
土地

管内の面積は県土の約5.8%を占めていますが、土地利用状況を見ると、約76%を森林が占めており、県と比較し13%以上も割合が大きくなっています。
また、県と比較し、田の割合が6%以上も少ないことが特徴です。

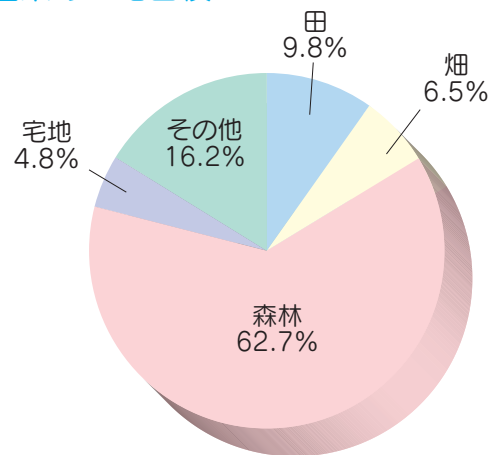
■土地利用(平成18年熊本県統計年鑑(土地利用現況把握調査(平成17年10月1日現在)))(単位:ha)

	田	畑	森林	宅地	その他	計
管内	1,392	1,776	32,732	1,033	6,126	43,056
県	72,323	48,105	464,384	35,562	120,109	740,483

■管内の土地面積



■県の土地面積



人口

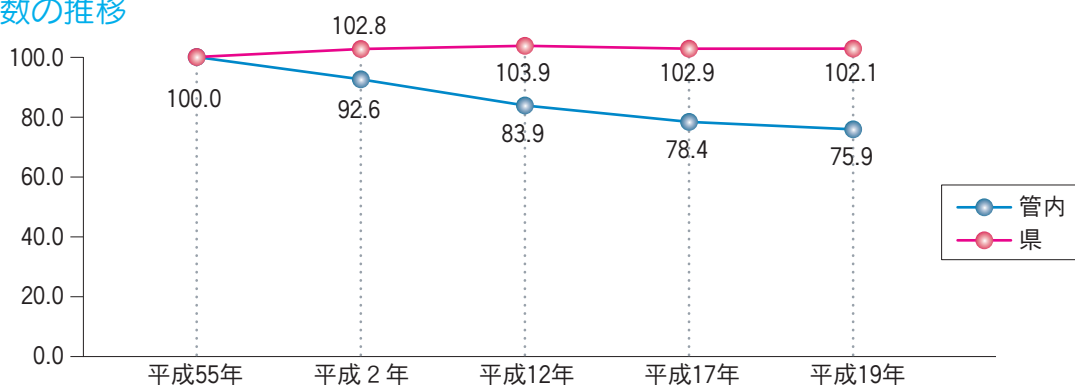
管内の人口は、県人口の約3%を占めています。人口は、昭和55年を100とした場合、年々低下し、平成19年10月で75.9と減少しています。
県全体の人口減少率と比較しても、管内の人口の減少率が高く、顕著に過疎化が進んでいるといえます。

■人口の推移・推計(国勢調査、熊本県推計人口調査(平成19年10月1日現在))

(単位:人)

	昭和55年	平成2年	平成12年	平成17年	平成19年	男	女
管内	70,616	65,401	59,261	55,385	53,629	24,743	28,886
県	1,790,327	1,840,326	1,859,344	1,842,140	1,828,288	859,568	968,720

■人口指数の推移



データで見る管内の現状

管内の高齢化率は32.9%と県と比較して8%以上高いうえ、年少人口比率も12.4%と県と比較して1%以上低く少子高齢化が進んでいます。

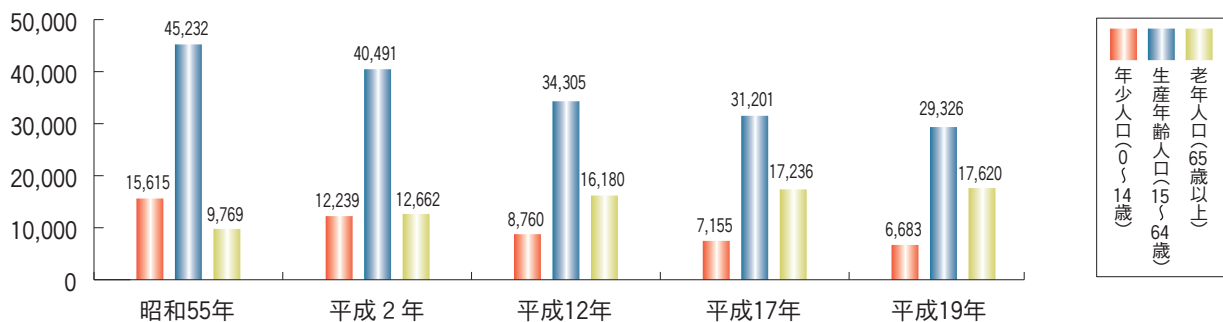
■年齢3区分別人口（国勢調査、熊本県推計人口調査（平成19年10月1日現在））

（単位：人）

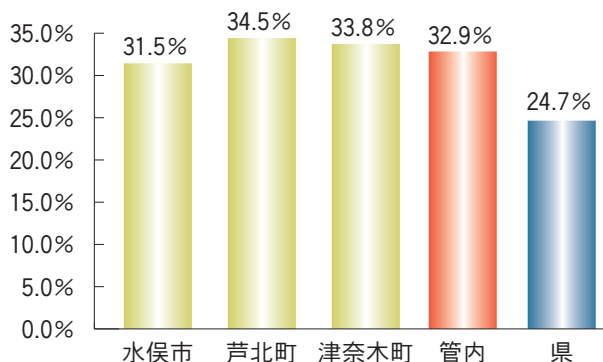
管 内	昭和55年	平成2年	平成12年	平成17年	平成19年	男	女
年少人口（0～14歳）	15,615	12,239	8,760	7,155	6,683	3,428	3,255
生産年齢人口（15～64歳）	45,232	40,491	34,305	31,201	29,326	14,386	14,940
老年人口（65歳以上）	9,769	12,662	16,180	17,236	17,620	6,929	10,691
計	70,616	65,401	59,245	55,592	53,629	24,743	28,886
年少人口率	22.1%	18.7%	14.8%	12.9%	12.5%	13.9%	11.3%
生産年齢人口比率	64.1%	61.9%	57.9%	56.1%	54.6%	58.1%	51.7%
高齢化率	13.8%	19.4%	27.3%	31.0%	32.9%	28.0%	37.0%

熊 本 県	昭和55年	平成2年	平成12年	平成17年	平成19年	男	女
年少人口比率	22.1%	19.3%	15.5%	14.3%	14.1%	15.4%	13.0%
生産年齢人口比率	66.2%	65.3%	63.2%	62.1%	61.2%	63.5%	59.1%
高齢化率	11.7%	15.4%	21.3%	23.6%	24.7%	21.1%	27.9%

■管内の年齢3区分別人口の推移



■高齢化率（熊本県推計人口調査（平成19年10月1日現在））



（単位：人）

	65歳以上人口	総人口	高齢化率
水俣市	8,860	28,164	31.5%
芦北町	6,992	20,240	34.5%
津奈木町	1,768	5,225	33.8%
管内	17,620	53,629	32.9%
県	451,711	1,828,288	24.7%